

井戸端だより

第49号

発行日： 2005.3.29

発行： ぐらしの学習会

今年も、早いものでもう3月。ちらほら桜の開花便りも聞かれる頃となりましたが、みなさまいかがお過ごしですか。

お陰様で、ぐらしの学習会の活動も、1993年1月に正式発足以来13年目に入りました。ここに井戸端だより49号をお届けします。読んでいただき、何かを感じていただければ幸いです。

目 次

- | | | |
|-----------------------------|-------|-------|
| ・1月総会・会計報告 | | P.2 |
| ・2月今治出張例会報告 | | P.3 |
| ・3月例会報告 | | P.4 |
| ・世界の風力発電20%増(新聞切り抜き) | | P.5 |
| ・はじめてみた東温市議会のインターネット中継 | | P.6~ |
| ・春風に誘われて、ウォーキングはいかが? | | P.8~ |
| ・雑感 | | P.10~ |
| ・センス・オブ・ワンダー(新聞切り抜き) | | P.12 |
| ・松原泉再生(新聞切り抜き) /
ある読者の雑感 | | P.13 |
| ・お知らせ・編集後記など | | P.14 |

1月総会・新年会

2005年度総会を1月24日(月)12:00～林宅にて行いました。参加者は5名と少なかったのですが、昨年度の会計報告、今年度の活動方針など話し合いました。今年度は、特に昨年度から懸案となっていたジャコウアゲハの保護を中心とした自然再生支援活動を柱にし、そのための河川整備基金助成申請を会として提出することを決定しました。その後、一品持ちよりの新年会で盛り上がりました。(T・H)

会計報告(2004.1～12)

収入

会費	27,000円
絵はがきカンパ	7,500円
カンパ	1,000円
利子	39円
前年度繰越金	<u>148,569円</u>
収入合計	184,108円

支出

用紙代	2,382円
切手代	8,060円
コピー代	530円
保険代	9,000円
ガソリン代	3,364円
駐車料金	<u>600円</u>
支出合計	23,936円

収入合計-支出合計=184,108円-23,936円=160,172円
(次年度繰越金)

東温市になっても、用紙を持参すれば中央公民館の印刷機を無料で貸してもらえらるため、会の財政には困ることなく活動できています。感謝!

2月 今治例会報告

2月21日(月)久し振りに、今治在住の活動会員Oさん宅での例会に会員6名で出かけました。お天気はよかったです、今治に着く頃には春の雪花がチラチラと。メンバーのお知り合いがやっているお食事所でOさんと待ち合わせ、手の込んだ昼食を頂きOさんのお宅へ。「井戸端便り」雑感レギュラー大五郎君の盛大なお出迎えを受け例会開始。

メンバーのKさんから、1月に申請した「平成17年度 河川整備基金助成申請書」についての説明を聞きました。

(テーマ) 蝶の公園づくり

(申請概要) 重信川流域の住民にジャコウアゲハの保護を呼び掛け、かすみ堤や土手周辺の草地を利用して蝶の公園をつくる。蝶の食草や吸蜜植物を植えて誰でも観察できるようにする。一年を通して観察した記録をカレンダーやマップの形にまとめ地域住民に伝える。

動植物の専門家に来ていただいて贅沢な自然観察会を実施する費用にも使いたいとの熱い思いを語られました。

結果は5月に出るらしいのですが、それまでの期間、私たちはどうした活動をしていくか。ジャコウアゲハ生息地の状況、昨年4月に移植したウマノスズクサの状況は、土手の改修や草刈りなどで現地の状況が変わっているので、まず3月の例会(3月7日)で見てから具体的に決めていくことになりました。

基金が降りなかった場合どうするか。広く地域住民に知ってもらうために『蝶の絵はがき』を作成し、今後の活動につなげて行くことになりました。ジャコウアゲハの生長過程の写真(卵・幼虫・さなぎ・成虫)ウマノスズクサの写真等をメンバー皆で選び、前回の『三か村泉』の絵葉書とは違い、今回はくらしの学習会メンバー皆が関わって作成しようと言う事になり、3月の例会後半に作業をする事になりました。

話を始めると時間経過が早くて4時も回った所で、Oさん宅を後にしました。見慣れない人が廊下を移動する度に吠える大五郎君、お疲れ様。Oさんありがとうございました。運転して下さったHさん お疲れ様でした。A.M

3 月例会報告

3 月 7 日、会員 6 名が出席し、林宅で例会を行いました。井戸端会議が始まり、最近の出来事を話し合っているうちに、話題が『公園』について集中してきました。

東温市内（主に旧重信町）にある既存の公園も、最近出来ている新しい公園も、単に子供の遊び場としてだけの発想から出来ている様な気がします。カラフルな遊具は子供をひきつけるのでしょう。そう広くない公園の敷地に赤や黄にペンキ塗りされた数個の遊具が並んでいます。それは、遠くからでも目立つ色です。しかし、公園に居ると、その色が強烈すぎて私は居心地が悪くなります。そういう遊具は、市内の西岡にある総合公園の様に広い公園だと、遊ぶ空間を示す色ですが、狭い公園では、いかにも遊ぶ子専用公園だと主張している色に感じられます。“公園を誰でも気軽に立ち寄れる集いの場としての発想で創ってもらえるといいね”とは皆の希望でした。

イギリスやアメリカにある『都市の応接間としての公園』の東温市版はどうか。大きな木を植えて、木陰をつくり、小さな子や赤ちゃん連れのお母さん、そしてお年寄りの方がホッとでき、自転車や徒歩通学の生徒、散歩やジョギングをしている若者や中高年が憩える場としての公園……悲しいけれど、昨今の様に犯罪が多いと、公園の空間は敬遠されがちだし、木が多いと暗くなるから危険だという理由で木を少なくしがちです。でも、みんなの集える場としての公園が東温市のオアシスとして各区にあるといいですね！！

次に昨年から続けているジャコウアゲハを増やすという活動について話し合いました。この活動を広く知ってもらう為、絵葉書を作ろうという事になっていました。しかし、絵葉書をセットで作るには、写真がもっと必要だということになり、作成にはしばらく時間をかけることにしました。そこでとり急ぎ、ジャコウアゲハを知ってもらう為の紹介用絵葉書を 1 枚だけ作ったらどうだろうということになりました。それで参加会員が各々、紹介用絵葉書の構成案をその場で考えました。それをもとに専門家の意見も聞いて作るという事になりました。ジャコウアゲハは、美しいチョウなので、この絵葉書は多くの方々の興味を引くと期待しています。

絵葉書の案を作るという、いつもの例会にない事をし終えて、3 月例会が終了しました。 (R・D)

はじめてみた 東温市議会の インターネット中継

東温市のホームページを見た。3月定例議会の日程が出ていた。会期は3月8日から23日までの16日間。本会議はインターネットで生中継されるという。その本会議は8日、11日、15日、23日の4日間。

早速15日は議場へ出かけ一般質問を傍聴した。最も多い時で傍聴者は15名。11名の議員が質問に立つ。9時30分から始まり終わったのは15時25分。質問と答弁を合わせて一人15分で終る人、約1時間かけて思いの丈を述べる人さまざまであった。新市の今後の展望、少子化対策、健康・介護・福祉関係、学校・教育関係など身近な問題を捉えての質問の多い中、日本国憲法について、「君が代」斉唱等についてなど質問もまたさまざまであった。

松下通議員の『土地区画整理事業について』の質問に愛大西地区に住宅地を計画し、既に2月に地権者に説明し75%の賛同を得ているが、今後25%の方の意見も聞きながら前向きに進めて行きたいということであった。近くに住む者として大きな関心事である。

市議会最終日の23日は9時30分から午前中インターネット中継をみた。パソコンの画面中央に議場の正面議長

特例債事業せず 財政抑制目指す

市長が提案説明

東温市 (8日・定例) 会期を

二十三日までの十六日間と決め、一般会計百四億三千三百万円、特別会計百九億四百四十九万円、企業会計二十三億三千八百八十五万円の二〇〇五年当初予算案、収入役を置かない条例制定案など計三十二議案を一括上程

した。継続審議になっていた特別委員会の設置についてを再度、継続審議とし、〇四年度旧重信町・川内町の決算など認定十七件を委員会付託、新伊予市の発足に伴う事務組合など合併関連の専決処分十一件を承認した。高須賀功市長は提案理由を「(予算編成は)旧川内、重信を隔てることなく市民融和に努めた」

と説明。「合併で財政状況が急に向上するわけではなく、数年かけ人件費抑制や事務合理化で削減できたものを事業に充てる」と実情を述べ、「〇五年度は大きな合併特例債事業のない暖気運転の期間ととらえ知恵を絞り、改革元年と刻まれるような行革をやりたい」と思っている。身の丈にあった収入役を置かない条例案を提案する「などとした。

市議会

助役の収入役兼務

「厳正に事務執行」

市長

東温市 (11日・定例) 二〇〇四年度の一般会計補正二億千五百二十二万円、特別会計補正七千七百六十五万円、水道会計減額補正一億三百三十五万円の計七

議案を原案可決。主な補正は、北方東公民館駐車場造成費九百二十万円▽光回線出先機関

接続費六百二十万円▽知的障害者小規模通所授産施設整備補助金三百七十八万円」など。収入役を置かず助役が兼務する条例案の質疑で、「助役と収入役は異質で兼務し難い」「問題が起きた時、直接、市長の責任になる」などの指摘に対し、高須賀功市長は「厳正公正に出納事務

を執行する。全国でも収入役を置かない事例が増加している」と述べた。また〇五年度当初予算案の質疑で、下水道整備計画の見直しについて市長は「財政に大きなウェイトを占めるが、やるべきことはやる。期間を延ばすなどの考え方で対応したい」と答弁した。

公共下水道整備

08年度以降
事業再検討

東温市 (15日・定例)野中明、安井浩一、松下通、山内孝二、大西佳子、竹村俊一、白呂寧、渡部伸二(以上無所属)佐藤寿兼、佐伯強(以上共産)遠藤千枝美(公明)の十一氏が一般質問。

今年四月で全体計画の32%が利用開始となる公共下水道の今後について

高須賀功市長は「合併に
より管渠(かんきょ)整備
の国庫補助が二〇〇七年
度までであるため、できる
だけ整備するのが有利。
〇八年度以降は事業量を
調整し、計画区域の再検
討を進めたい」と述べた。
企業誘致について市
長は「当面、川内支所の
空きスペースを民間に
貸し、企業を誘致できな
いか検討している。市
独自の支援措置も検討
し雇用拡大を図りたい」と
答弁。このほか、〇五

年度からバランスシート
や行政コスト計算書
を作成し、市政運営に民間
企業の手法を導入すると
した。
懸案の学校給食センタ
ー建設について、岡省吾
教育長は「一カ所に統合す
る従来方針を述べ、セ
ンター方式で建設に三億
三千万円、二カ所で十四
億三千万円、自校方式で
二十五億円かかる。財政
事情が逼迫(ひっばく)
しており、自校方式は非
効率」とした。
学校での君が代斉唱に
関しては「思想信条の自
由を侵すものではない。
歌わなくてもよい自由を
説明するのは親の責任で
するべきだ。強制ではな
い」と答弁した。

席近辺の動画が小さく映る。画面を拡大すると映像がぼやけて顔など全然分らない。声は近くで聞くからきれいに入る。これは議場で聞くよりよく分る。

この日は総務、産業建設、厚生、文教各委員長による委員会報告と質疑・討論(反対・賛成)・表決があった。内容は全般に関する事業(補助・助成も含めて)の税金の使い方が中心で興味深かった。

報告の冒頭に委員会傍聴者多数の中開かれたと言っていた。委員会も会場を議場にしてインターネット中継しより広く市民に公開して欲しい。

2005年度の一般会計当初予算104億3300万円が決まった。これで名実共に新東温市として発足できた。高須賀功市長が『広報とうおん』の年頭のあいさつで「行政のスリム化・効率性はもちろん、市職員のマンパワーを高め、行政サービス体制の再構築を図りながら、地域の実情と住民ニーズに合った個性的な施策、より費用対効果の高い施策を展開することによって、新しい時代にふさわしい住民主役の東温市を確立してまいります。」と述べておられた。この決意を是非具体化し実現して欲しいものである。

(s・k)

愛媛新聞

収入役置かない
条例制定案可決

東温市 (23日・定例最終)一

般会計百四億三千三百万円など二〇〇五年度当初予算や、収入役を置かない条例制定など三十八議案を原案可決。旧重信・川内両町と東温市の〇四年度決算案など十七件を原案認定した。
一般会計予算案の討論で、反対の立場から、職員(の努力や古紙処分委託料)の引き下げなどで経費

削減を求める意見や、少子化対策予算を厚くすべきだとの指摘があった。一方、厳しい予算だが、福祉、教育、産業振興、防犯と十分に配慮された予算と賛成討論があった。
このほか、合併協議の段階から懸案だった旧両町の敬老年金の取り扱いで、同年金支給条例を廃止する条例に「住民を説得するには市長自らがまず、給料を減額する条例を提出するのが本来のあり方だ」と反対意見が出た。
削減を求め、少子化対策予算を厚くすべきだとの指摘があった。一方、厳しい予算だが、福祉、教育、産業振興、防犯と十分に配慮された予算と賛成討論があった。
このほか、合併協議の段階から懸案だった旧両町の敬老年金の取り扱いで、同年金支給条例を廃止する条例に「住民を説得するには市長自らがまず、給料を減額する条例を提出するのが本来のあり方だ」と反対意見が出た。

東温市助役に
元愛媛銀常務

東温市議会は二十三日、三月定例議会で、助



互銀行入行。95年から2004年まで愛媛銀行常務。南方。

東温市助役に元愛媛銀行常務の佐伯決氏(さえき・さだむ)岡山大法学部卒。1966年愛媛銀行常務。南方。

6年愛媛銀行常務。南方。

春風に誘われて、ウォーキングはいかが？

2月14日、コープえひめ南支所にて、「くらしの大学・ウォーキング講習会」が開かれました。講師は、巷でうわさの忠政啓文先生。お腹のあたりが気になる私も参加してみました。

まず、忠政先生からウォーキングのポイントについてお話しがあり、その後、朝生田から石手川公園まで実際に歩いてみました。快い運動になり、とても気持ちのよい時間を過ごすことができました。

ここで、教えていただいたウォーキングのポイントを4つまとめてみます。

1 よい姿勢

よい姿勢とは、まっすぐに立って両手を高く挙げ背伸びをします。そして両手をそのままゆっくりと体側にもどした状態。

2 かかとから着地

足とかかととの角度を90度にし、かかとから着地する。普段から、これをくせにしておく、家の中でのつまずきや転倒を防げる。

3 前に出した足のすねをのぼす

4 腕を後ろにふる

腕は前後に振りますが、前よりも後ろの方に強くふるようにします。後ろに引いた方が、お腹にねじりが加

わりお腹の脂肪を燃やすのに効果的
とか。



一度に4つのポイントすべてをマスターして歩くのは大変なので、今日はこの点に気をつけようくらいの気軽な気持ちで始めるといいそうです。そして何より「続けること」。少しでもいいから、毎日するのが理想です。でも、ウォーキングで急にやせるといのは無理。ダイエット効果を考えるなら、まず食べ物に気をつけましょう、とのこと。「ウォーキングしてすぐポケットから飴だのチョコレートだの出して食べてたらダメですよ、ポケットは空にしておきましょう」とは、さすが鋭い忠政先生でした。

E. K

蒼社川の桜並木が、うっすらと紅をさした様に見えます。立春以後、時ならぬ大雪に驚かされたりもしましたが、着実に開花の準備をしている様です。

のどかな春の陽射しに包まれ、久々に何の予定もなく、のんびりと三連休を過ごしていた 3 月 20 日、突然、九州からの大きな地震のニュースが飛び込んできました。九州には親しい人が大勢います。幸い皆無事でホッとしたのも束の間、日を追うにつれ、次々に明らかになる被害の大きさと多様さ、その後続く無情な雨、被害の拡大が心配されます。これ以上辛い思いをする人がふえない様、祈るばかりです。それにしても、このところの自然災害の多さに、改めて“この地球はどうなってしまおうのかしら”と不安が募ります。

人間にはどうしようもない災害もありますが、人間由来の地球温暖化などが原因となっている災害が多いのも事実です。人間のわがままを少し我慢すれば今より災害は少なくなると思えます。大事な大事な私達の住処である地球のことをもっと、もっと大切に考えなくては、と痛感します。

京都議定書発効の今年、京都で開催された記念行事に招かれたケニアの環境副大臣ワンガリ・マータイさんの一言、一言が重く心に浸みわたります。“他人や、行政、国際機関に何か要求する前に、先ず自分の出来ることから始めよう” 彼女はこの一念で 30 年間にわたって草の根の植林活動を続け、結果、土壌の侵食を防ぎ、農村女性の社会参加を促し、地球温暖化防止にも大きく貢献したことが認められ、昨年アフリカ女性として初めて、ノーベル平和賞を授与されました。彼女の大好きな言葉は“Mottainai”。日本語の“もったいない”を真に伝える英語が無いということで、ローマ字表記で世界語になりつつあると言います。日本人が昔から大切にしてきた心“もったいない”が世界語になるとは嬉しい限りです。

彼女は“Mottainai”を实践する為の 4 つの R(Reduce, Reuse, Repair, Recycle)を提唱しています。私が子供の頃、何かにつけて大人達が口にした“もったいない”という言葉は自然に子供の心にも浸み込んで来ました。すべてのものに感謝し、粗末にしない様に躡られたものでした。今、若い人達の間では死語になりつつあるという“もったいない”。私達大人の責任の大きさを感ずります。伝えなくては、と思えます。

このまま地球の温暖化が進むと、太平洋の美しい島国ツバルは近い将来、完

全に水没してしまうとされています。名古屋で開催される万博では永久凍土から発掘されたマンモスが展示されると話題になっていますが、マンモスの発掘が可能になったのも地球温暖化の副産物、と警告する人もいます。鳥葬で知られるチベット自治区は近年、遺体に化学物質が蓄積され、野生のハゲタカが食べなくなり、衛生上の問題もあり、火葬が増えた結果、森林の乱伐という新たな環境破壊が問題になっているとも言われています。

2001年に京都議定書から離脱したアメリカの動向に目を奪われている間に、イギリス・ドイツは温室効果ガスの排出量を1990年のレベルまで戻すことに成功しましたが、日本はその間にも排出量が増え続け、もはや達成は不可能とも言われています。特効薬はないかもしれませんが、一人一人が“先ず自分の出来ること”を心がけねば、と思います。“私の出来ること”先ず、実家の片づけに出かける時利用していたコンビニ弁当を止め、お弁当と飲物を持参することにしました。プラスチックゴミが激減して、スッキリ、です。そして、遠くから多くの燃料を使って運ばれて来る食材をなるべく購入しない様にしました。私の住んでいる今治は、“地産地消”が盛んなので、ほとんどの店舗にコーナーがあり助かります。鮮度抜群で味も濃く満足しています。究極の地産地消、家庭菜園の実行の為、もう少し、やんちゃ犬、大五郎の躰をがんばらなくては、と思っていますところです。先日も、イタリアンパセリを株ごと抜かれてしまいましたから。歩くこと、冬は衣服を一枚多く、夏は打ち水を、そしてブロック塀には蔓性の植物をからませようと思います。今年の夏の午後、むき出しのブロック塀の照り返しは火傷しそうな程の熱さでしたが、ルコウ草がからまっている所では、ひんやりとした感じさえして驚いたことがあります。私に出来ることはわずかですが、あきらめず続けていこうと思います。そして“出来ること”を少しずつでも増やして行きたいと思っています。

芸予地震から4年目の3月24日、愛媛には風雪波浪注意報が出され、夜がふけて雨は雪に変わっています。自然の怒りを感じます。

“Mottainai”が地球を救う合い言葉になりますように。

(K・O)

四季録

一歳三月月の息子の毎日
は、新しいものとの出会い
に驚き、心が躍り、胸はど
きめき、興奮し、喜ぶこと
のくり返しです。いつも生
き生きとして、疲れなど知
りません。「沈黙の春」の
著者として知られるレイチ
エル・カーソンは、子ども
たちの持つ感性「センス・
オブ・ワンダー」
について、一冊の
本を書き残しまし
た。

センス・オブ・ワンダー

センス・オブ・ワンダー
とは神秘さや不思議さに目
を見はる感性のことです。
子どもには生まれつきそな
わっているのに、大人にな
ると鈍くなり、失われてし
まうこともあるといいま
す。けれども、子ども時代
に自然界を探検し、地球の

美しさや神秘さに触れてこ
の感性を育み、強めること
で、大人になっても人生に
飽きて疲れることなく、生
き生きとした精神力を持ち
続けることができるとレイ
チエルは記しています。こ
れは、私が環境教育の活動
をすすめる際に大切にしてい
ることの一つです。

があれば、さらに充実した
時間となります。観察会に
協力していた私は、少しだ
け発見の手伝いをしまし
た。ひとたび発見の糸口が
つかめれば、広く深い自然
の世界へと誘われます。

この日、藪を歩いて小さ



・「センス
オブ・ワンダー」を自言
葉に自然観察会を実施して
いる町があります。東温市
です。つい先日冬を染し
む観察会が行われました。
寒さの中でも、暖かな日
差しを受けて歩くのは気持
ちのよいものです。そこに
生きものとの豊かな出会い
らかな感触や、ヤドリギの

実のねばねばとかすかに甘
い味も忘れることはでき
ません。ほかの皆さんは何
を持ち帰られたのでしょ
うか。

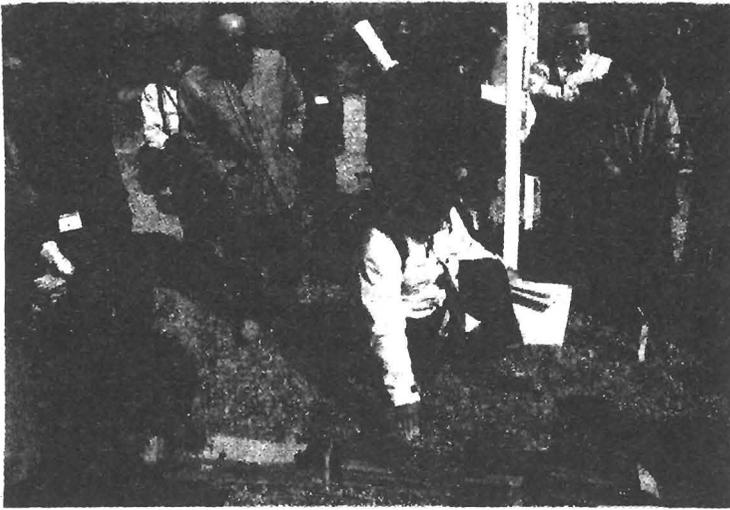
レイチエルは、子どもの
センス・オブ・ワンダーを
新鮮に保つために、このよ
うな感動を分かち合う大人
が少なくとも一人、そばに
いる必要があると言ってい
ます。レイチエルにとって、
それは母親だったそうです。
私は彼女の足元にもお
よびませんが、親となつた
今、息子に寄り添い、彼が
驚けば一緒に驚き、感動す
れば感動するといふ姿勢を
持ち続けたいと思っていま
す。

(斉藤 智子・エコトーク
プランニング代表)

泉と雑木林再生へ

松山・森松住民ら計画案確認

松山市森松町の重信川
河川敷に昔あった泉を再
生する計画を進めている
「松原泉を再生・保存す
る会」(森田光一会長)
の最終全体会が二十六
日、現地であり、国土交
通省松山河川国道事務所



再生計画予定地で、松原泉の模型を基に説明を受ける住民

や計画策定にかかわった地元住民、小学生、大学関係者ら約五十人が、再生計画案を確認しあつた。

同事務所によると計画は、泉と小川、雑木林などを再生し、親水公園整備と自然の回復などを目指す。近くの井戸からくみ上げた水を泉に入れ、そこから長さ約三百五十メートルの小川を通して重信川本流に流す。小川にホタルなど昆虫や魚などを呼び込み、周辺にはエノキやクスノキ、ドングリなどを植える。

現在公園となっている計画予定地に集まった参加者は、同事務所職員の説明を聞き「子どもがおぼれないよう小川は浅くしてほしい」「昔はこの辺は松林だったので、マツも植えてほしい」などと要望した。

十月ごろに着工し、二〇〇六年度中に完成する予定。

先日は 井戸端だより 有難うございました

★「市議会傍聴」... 中味が良く解り 有難うございました。「府の議会」という事を聞きました。東温も議会報を発行し一般管向とその答弁。各委員会活動など 報らせて欲しいです。

★「知事との懇話会」... 筋書通りであったとは思いますが。P24の対向・日野上江方面の... というのが行政側「言いつた」と思いますが。一部の改革知事らの文字とエビでは距離があるようにです。

★「議員任期特例」で、巨大議会から、肉題になつてい本すれ。別の考え方はないのでしょうか。例は?

- ① 議員数両州を各1/2に引(特例期間中)
- ② 長野県秦野村方式にする... 同当報両州ほどの角度から、検討してみても面白いと思います。

★ お礼まで。お感です

今後の予定・お願い

- ・ 次回は、花見例会です。酒だる村へ行きます。4月10日日曜日午前10時林宅集合。参加ご希望の方は、4月9日までに林までご連絡ください。
- ・ ジャコウアゲハの食草、ウマノスズクサを移植したり管理したりする機会が出てくると思われます。興味関心のある方は、ご連絡ください。
- ・ 読者の声を募集しています。ご感想、ご意見をお寄せください。お待ちしております。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2000 円/年 購読会員 1000 円/年

振込先口座番号 (郵便局) くらしの学習会 01610-5-21026

問い合わせ先 TEL/FAX 089-964-6956 (林)

E-mail: kt-hayashi@nifty.com

編集後記



愛知万博 (愛・地球博) に思いがけなく行って来ました。人込みは嫌いなので、無理だと思っていましたが、3月25日開幕日、たまたま帰省していた実家が会場の長久手にあるので、余り込んでいないというニュースを聞きつけ、午後4時頃両親の付き添いという意味もあって出かけました。事前の内覧会でなかなか見られなかったというトヨタ館も日立館もさほど待たずに入ることができました。万博の今日的意義を見いだすのはなかなか難しいのですが、環境博という視点はいいと思います。ただその裏に、やはり巷でささやかれている大企業のしたたかな計算をぬぐいさることは出来ませんでした。それでも今後の展開次第で、スポーツ以外の人と人との交流の場、京都議定書発効後の今日的課題の提起、解決策の共有の場などの面が充実してくれば、功罪半ばとなるでしょうか。開催された以上、参加者の努力で是非功の面が罪を上回ることを願ってやみません。

(T・H)